

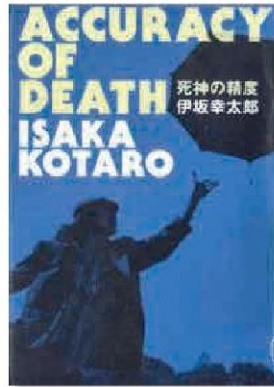


雨にまつわる本

梅雨の季節に、家の中で本を読むひとときを過ごしてみたいかですか？

『死神の精度』

伊坂幸太郎／文芸春秋



「仕事だからだ」とやるべきことをやり、余計なことはやらず、さっさと終わらせたいという、そんな彼の職業は「死神」。しかも、彼が仕事をするときにはなぜか雨が降るのだそう。相手に合わせ最もふさわしい姿で現れる、そんな彼の仕事ぶりを描いた連作集。

『レインメーカー』

真山仁／幻冬舎



書名の由来は、雨が降るように大金を稼ぐ弁護士の呼び名。医療訴訟専門で凄腕と評判の主人公が、2歳児の急死に関する医療過誤訴訟に立ち向かうさまを、遺族の両親、病院や医師、相手の弁護士たちのさまざまな思惑とともに描く法律サスペンス。

『雨ふる本屋』

日向理恵子、吉田尚令／童心社



急に降り出した激しい雨を避けて図書館へ駆け込んだルウ子は、本棚の奥で不思議な「雨ふる本屋」に迷い込みます。忘れられた“物語の種”から本を作る手伝いを通して、物語の大切さや人とのつながりを知っていく、幻想的で心温まる1冊。

『あめ じょあじょあ』

イミエ、田島征三、おおたけきよみ／光村教育図書



「じょあじょあ」とは、雨が勢いよく降る様子を表した韓国の言葉。雨が降った後は土を湿らせ野菜を育て、海へ流れ、そして水蒸気になって空で雲となり、また雨を降らす。雨が姿を変える様子を『しごくのそうべえ』の作家が描く絵本。

今月の新着図書

- 一般書 ● 『教養としての災害と考古学』 山本誠／淡交社 ● 『右腕を失った野球人』 佐野慈紀／KADOKAWA ● 『高校に行かないと決めた14歳の日から』 七井マリ／文芸社 ● 『ピバリウム Adoと私』 小松成美／KADOKAWA
 児童書 ● 『もしも桃太郎のおばあさんがマッチョだったら』 柳田理科雄／集英社 ● 『まこちゃんとおとぼろ』 村上しいこ／佼成出版社 ● 『10かいだてのおひめさまのおしろ』 のはなるか／PHP研究所

おはなし会を開催します

- 【加悦分室】6月13日(土)
 【野田川分室】6月27日(土)



- >>> 七夕・夏のおはなし会
 【本館】7月4日(土)
 【野田川分室】7月5日(日)
 【加悦分室】7月11日(土)
 ※ すべて午前10時30分～

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
 ● 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



がんばってます！消防団

編集 ● ひまわりふれ愛隊

こんにちは、ひまわりふれ愛隊です！

一人ひとりが防火防災につとめ、自分たちの未来を守りましょう！

わたしたちは与謝野町消防団の女性消防隊として、火災や災害などの予防啓発を中心に活動しています。隊の名の通り、住民の皆さんとの『ふれあい』を大切に、消防団の活動を身近に感じてもらえるよう頑張りますので、皆さんの応援をよろしくお願いします。

なお、新入団員も募集中です！



出初式の分列行進

ひまわりふれ愛隊の「ここが知りたい！」

Q どんな活動をしていますか？

2ヵ月に1度、定例会を開いて活動内容を決めています。また、防災フェア(右写真)や年末警戒、出初式に参加しています。消防車両に乗って広報活動もしています。

Q 火事が起きたときは出動しますか？

ひまわりふれ愛隊は出動しません。主に、広報活動や防火チラシ作りなどの予防活動をしています。

Q 年齢制限はありますか？

18歳以上の方で定年はありません。興味のある方は、どなたでも参加していただけます！

Q 活動はボランティアですか？

活動に応じて手当が支給されます。



— 火災が増えています！ —

今年に入ってから町内で火災が急増しています。ちょっとした不注意が火災につながる可能性があります。今一度、火の元にご注意ください。

令和8年度全国統一標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

